

家庭や地域との連携による活用事例

学習の流れ

1 道徳の時間

- ① 二〇四ページの濱口梧陵の「人物探訪」を読んで考えたことを発表する。
- ② 二〇五ページの「メッセージ」を読んで考えたことを発表する。
- ③ 自分たちが生活している地域の伝統や文化、それをつくり上げてきた先人や高齢者について、自分が知っていることを話し合う。

◆ポイント

「人物探訪」や「メッセージ」などから、自分たちが生まれ育った地域に関心をもち、ふるさとの魅力を探っていくこうとする課題意識をもつ。



P.204~205

P.200~205

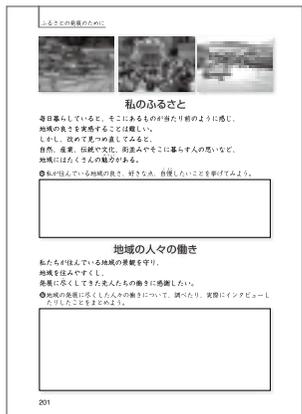
4 社会に生きる一員として  
(8) ふるさとの発展のために

2 家庭での学習 (道徳の時間に考えたことを生かして)

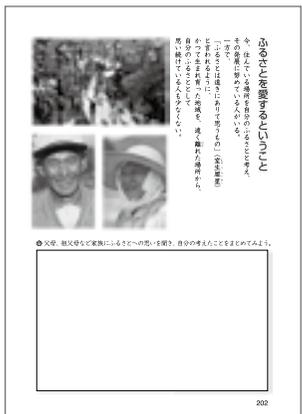
- ① 自分が住んでいる地域のよさや好きな点、自慢したいことを二〇一ページの書き込み欄に記入する。
- ② 家の人からふるさとへの思いを聞き、自分の考えたことを二〇二ページの書き込み欄に記入する。

◆ポイント

地域の発展に尽くした先人や高齢者によって自分たちの生活が支えられていることを自覚し、ふるさとのよさを感じるとともに、ふるさとのために自分たちが貢献していきたいという意欲をもつ。



P.201



P.202

3 学校行事

校区の小学生、中学生、保護者、地域住民が協働して花の苗植え、ゴミ拾いなどのボランティア活動を行う。

- ① 自己紹介をして「自分が思うふるさとのよさ・好きな点」を発表し合う。
- ② 地域ごとの異年齢グループで、環境美化活動を行う。
- ③ 活動を振り返る。

※学校便りやホームページなどの広報、参観日や保護者会などの機会を通して、活動の様子や感想を家庭や地域の人に伝える。

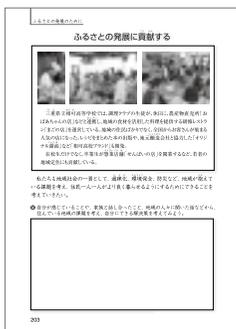


4 学級活動

- ① ふるさとへの思いについて、家の人から聞いたことやボランティア活動の感想を発表する。
- ② 道徳の時間や総合的な学習の時間(特に地域や学校の特色に応じた課題をテーマとした学習)で学んだことを基に、住んでいる地域の課題を考え、自分にできる解決策を二〇三ページの書き込み欄に記入する。
- ③ 地域の課題と解決策を話し合う。

◆ポイント

地域の人たちの関わりや、地域社会の実態を把握するとともに、地域の課題を解決しようとする意欲をもつ。



P.203

5 生徒会活動「子供議会」(これまでの学習を生かして)

- ① これまで学習してきたことを基に、自分たちが考えた地域の課題の解決策について提言し、行政担当者等と話し合いをする。

地域の課題【例】

- 高速道路の完成による観光客誘致について
- ユニバーサルデザインによる公園の整備について
- 文化的・歴史的遺産の保存や伝承について
- 川の水質汚染の状況と対策について

② 中学生と行政担当者等が、それぞれの立場から、ふるさとへの思いや発展に向けた考えを語り合う。  
※自治体の広報紙等で様子や感想を地域住民に伝える。

◆ポイント

地域社会の一員としての自覚を深め、主体的にふるさとの発展に努めようとする態度を育んでいく。

